

令和元年算数科授業の略案 (2 学年)

	単元名	教材名
6月24日(月)4校時	3けたの数	何十、何百の計算
本時のねらい(4/13)		
○十を単位とする簡単な加減の仕方を考えることができる。		
評価規準 数 十を単位とする簡単な加減の仕方を、十を単位とした絵や式と言葉を結び付けて考え、表現することができる。 (観察・ノート・発表)		
学習過程	学習活動(○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・ 評価
【導入】 11:15	前時のふり返しをする。 「1つの数でも、いろいろな見方をすることができる。」	
【展開】 ・問いの共有 課題把握 11:18 ・シラバス ・見通し	1 問題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> たかしくんはおりがみを50まい、あきさんは70まいもっています。ふたりあわせてなんまいもっているでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あわせてともんだいに行っているからたしざんのしきになるよ。 ・しきは50+30だ。 ・こたえは100をこえそうだ。 ・一のくらいにりょうほう0がついているな。 2 本時の課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 一の位が0どうしのけいさんのしかたをかんがえ、せつめいしよう。 </div> (一人学び(15分)・ペア学び(6分)・全体(10分)・まとめ(3分)・振り返り(3分)) ○見通しをたてましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・50は10のまとまりが5つ、70は10のまとまりが7つ⇒10のまとまりで考えるといいな。 3 自分の考えを絵やことば、式に表してノートとWBに書く <予想される児童の反応> (ア) 数える <ul style="list-style-type: none"> ・$\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10} + \textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}$ $50+70=120$ <li style="margin-left: 20px;">$\textcircled{10}\textcircled{10}$ $\textcircled{10}\textcircled{10}$ (イ) 100のまとまりをつくる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10} + \textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}$ $\textcircled{10}\textcircled{10}$ 100と20で120 $\textcircled{10}\textcircled{10}$ $\textcircled{10}\textcircled{10}$ </div> (ウ) 10のまとまりをつくる $\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10} + \textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}\textcircled{10}$ 10が5こ 10が7こ $\textcircled{10}\textcircled{10}$ $\textcircled{10}\textcircled{10}$ $5+7=12 \Rightarrow 10$ が12こで120	<ul style="list-style-type: none"> ・一のくらい・十のくらい・百のくらい・10のまとまり・100のまとまり・数のせん・メモリ ・この学習時間にやることがわかったかどうかハンドサインチェックで確認する。 評 十を単位とする簡単な加減の仕方を、十を単位とした絵や式と言葉を結び付けて考え、表現することができる。(観察・ノート・発表)
自力解決 11:25		
班学習 11:30	4 班学習で考えを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやWBを使って自分の考えを伝え合う。 	
全体学習 11:37	5 出てきた考えから、同じところ違うところを見つけたり、質問をし合う。 (ア) 50と70をたして120です。 (イ) 50と50で100、のこりの20を合わせて120です。 (ウ) 10のまとまりが5こと10のまとまりが7こなので $5+7=12$ 12は10のまとまりが12こといことなので答えは120だ。	「5」と「7」は何を表しているか、考えさせることで、10がいくつで考えていることを確認する。
考察 11:47	6 全体学習から、本時の課題にせまる。 <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりでかんがえたよ。 ・1年生のときのけいさん(5+7)をもとにして答えができるよ。 ・絵をかいてみるとよくわかったよ。 	
まとめ 11:52	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 50+70のけいさんは10のまとまりでかんがえるとかんたんにこたえをだすことができる。 </div>	
【終末】 11:57 適用問題 ふりかえり	7 この時間に学習したことをまとめる。 8 適用問題を解く。60+40	・学習して思ったことなど授業の振り返りをする。

